

【最優秀賞／企業賞（日本ガイシ賞）：混合 C チーム（愛知工業大学・名古屋学芸大学・名古屋造形大学）】

課題：KDDI アジャイル開発センター株式会社「スマートシティの働き方を考えよう～生成 AI で実現する従業員のモチベーション向上とは～」

タイトル：「WAKABA（ワカバ）」

市民と企業をつなぐプラットフォーム「WAKABA（ワカバ）」を提案。「WAKABA（ワカバ）」は、メルカリのようなプラットフォーム形式を採用し、市民から集まった意見を AI が集約・要約してプロジェクトを立ち上げる。プロジェクトは「種」「つぼみ」「花」の三段階に分けられ、段階ごとに支援金の目標達成度や企業の追加情報が表示される。AI によるプロジェクト生成と画像生成を活用し、人的リソースを最小限に抑えることで効率的に運営が可能。クラウドファンディング形式を通じて市民からの支援を受け、企業は既存の支援を活用して運営を開始できるメリットがある。



【優秀賞：名古屋文理大学チーム】

課題：東山株式会社『グッバイ人手不足 ～Well-being を達成せよ～』

タイトル：「driview（ドライビュー）」

運送業の魅力を縦型動画で PR する「driview（ドライビュー）」を提案。帽子に取り付けたカメラでドライバーの視点から映像を撮影し、心拍センサーを用いて感動した瞬間を捉えた 20 秒の動画を自動的に記録する。この動画は生成 AI を使用して BGM を生成し、YouTube ショーツなどに投稿される。これにより、若い世代に対して仕事のやりがいや魅力を直接伝えることが可能。管理画面で動画を選択・投稿できるシステムにより、簡単にプロモーション活動が行える。



【優秀賞／企業賞（豊島株式会社）：愛知工業大学 A チーム】

課題：NTP システム株式会社「生成 A I のデジタルワーク化による IT ヘルプデスク運用」

タイトル：「AutoHelpDesk（オートヘルプデスク）」

ヘルプデスクの業務効率化を目指した「AutoHelpDesk（オートヘルプデスク）」を提案。システムは過去のメールデータを蓄積し、類似度を評価して自動的に返信文を生成する仕組み。特に、ラグと呼ばれるプロセスを介してメールの類似度を評価し、その後、生成 AI が回答を生成するため、即時的かつ精度の高い対応が可能。さらに、メールの重要度を星のマークでランク付けし、緊急度の高い順に自動返信を行う機能を搭載している。データが蓄積されるほど回答精度が向上し、効率的な運用が可能になる。



【審査員賞／企業賞（NTPシステム賞）：名古屋大学チーム】

課題：NTP システム株式会社「生成 A I のデジタルワーク化による IT ヘルプデスク運用」

タイトル：「ばずぼっと」

生成 AI を活用したヘルプデスク業務効率化のために「ばずぼっと」というチャットボットを提案。このチャットボットは、可愛らしいキャラクターとユーモアを交えてユーザーに親しみやすい回答を提供し、質問内容に応じた適切な QA をリアルタイムで提案する。さらに、回答に対してグッドボタンとバッドボタンで評価し、データを蓄積することで、

より正確な回答が生成される仕組み。また、キャラクターの進化やレアキャラの登場など、ゲーム要素を取り入れ、利用者に楽しさを提供しつつ、業務の効率化を図る。



【審査員賞：岐阜大学チーム】

課題：KDDI アジャイル開発センター株式会社「スマートシティの働き方を考えよう～生成 AI で実現する従業員のモチベーション向上とは～」

タイトル：「HotAICafe (ホットアイカフェ)」

従業員のモチベーション向上を目的とした「HotAICafe (ホットアイカフェ)」というプロダクトを提案。このプロダクトは、カフェでの体験を向上させることを通じて、働く環境の改善を図る。生成 AI を活用し、近隣のカフェの空席状況や雰囲気を実タイムで取得し、ユーザーに提供する。さらに、カフェの空き状況や環境情報をもとに、最適な席を選んで案内する機能も実装している。これにより、集中力や生産性を高める効果が期待される。また、低コストで導入できるシステムであり、プライバシーの確保も実現している。



【審査員賞／企業賞（東朋テクノロジー賞）：中部大学 A チーム】

課題：東朋テクノロジー株式会社「AI を東朋テクノロジー株式会社の広報担当者に！」

タイトル：「Biz Mate (ビズメイト)」

東朋テクノロジー株式会社の社内広報を支援する「Biz Mate (ビズメイト)」というコミュニケーション支援アプリを提案。このアプリは、社員同士のコミュニケーションを促進す

るため、共通の趣味をもとにマッチングを行い、1対1でチャットをする仕組み。Discordなどの外部ツールを活用し、自然な形で社員間のつながりを強化する。また、生成AIを使って、個々のプロフィールやフィードバックを基に、より円滑なコミュニケーションを支援する。さらに、イベントの企画に役立つデータも収集され、社員間の関係を深めるだけでなく、社内イベントの活性化にも貢献する。



【企業賞（KDDI アジャイル開発センター賞）：愛知産業大学チーム】

課題：KDDI アジャイル開発センター株式会社「スマートシティの働き方を考えよう～生成AIで実現する従業員のモチベーション向上とは～」

タイトル：「まちか do マッチ」

従業員のモチベーション向上を目指した「まちか do マッチ」というプロダクトを提案。このアプリは、従業員同士の交流と地域ボランティア活動を通して、コミュニティの活性化とモチベーション向上を図る。生成AIを活用して社員の仕事状況を把握し、疲労度やストレスを可視化するとともに、他部署の社員とのリフレッシュ活動を提案。アプリは、チャットボットで日々の業務に応じたフィードバックを行い、他部署の社員との交流や地域でのボランティア活動を通じて、従業員同士や地域社会とのつながりを深める。これにより、社員の貢献意識が高まり、会社のブランド価値向上にもつながると期待される。

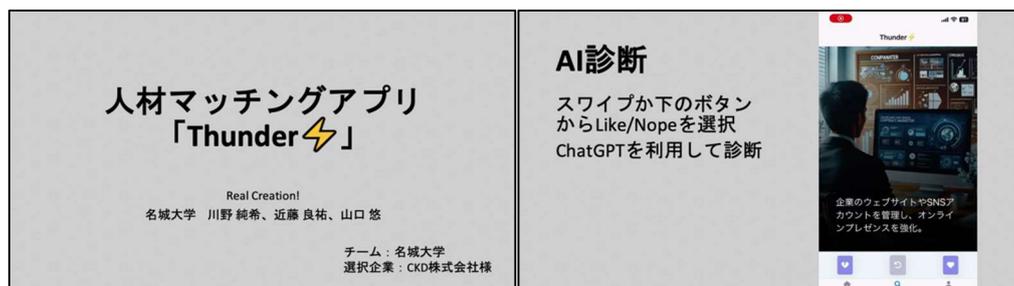


【企業賞（CKD 賞）／企業賞（名古屋テレビ賞）：名城大学チーム】

課題：CKD株式会社「誰も置き去りにしない！多様性のある社会で皆が実力を発揮するためには？」

タイトル：「社内人材マッチングアプリ Thunder（サンダー）」

従業員が新しい分野の仕事に気軽にチャレンジできる環境を作るための「Thunder（サンダー）」という社内人材マッチングアプリを提案。このアプリでは、生成 AI を活用して、従業員のおみやスキルに合った仕事を診断し、適切な業務を提案する。さらに、数日間の社内副業として実際に体験でき、フィードバックを通じて AI が学習し、次回以降の提案精度を向上させる。AI は、従業員と上司のフィードバックを統合し、より効果的なマッチングを行う。この仕組みにより、従業員が多様な分野に挑戦しやすくなり、成長の機会を提供することで、企業全体の活性化が期待される。



【企業賞（東山賞）：愛知工業大学 B チーム】

課題：東山株式会社『グッバイ人手不足 ~Well-being を達成せよ~』

タイトル：「現場直送！声届けるくん」

物流業界の人手不足と労働環境の改善を目指し、「現場直送！声届けるくん」というウェブアプリを提案。このアプリは、現場の声を経営陣に届けることで業務改善を図り、物流業界のイメージ向上にも貢献する。ハンズフリーで現場の声を録音し、それをテキスト化して報告書や SNS 投稿用に自動生成する機能を備えている。運転中でも安全に利用できるハンズフリー機能により、作業効率を高めながら労働環境の改善が期待できる。さらに、会話履歴を管理し、不適切な内容を削除する機能も搭載。これにより、経営陣は現場のリアルな声を反映しやすくなり、業務の効率化と人手不足の解消に貢献するシステム。

HackAichi +2024 最終プレゼンテーション

所属工科大学 B
チーム名 「夜更かしデバック部」
課題メンター 東山株式会社

解決方法



アプリ名
「現場直送! 声届けるくん」

概要
運転や休憩中にハンズフリーで音声会話できるアプリ。
その日の出来事や会話した内容を報告書形式やSNS投稿形式に
編集し、提供することができる。